

平成24年度 文部科学省 産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業
「産官学地域協働による人材育成の環境整備と教育の改善・充実」

平成24年度 内部評価結果

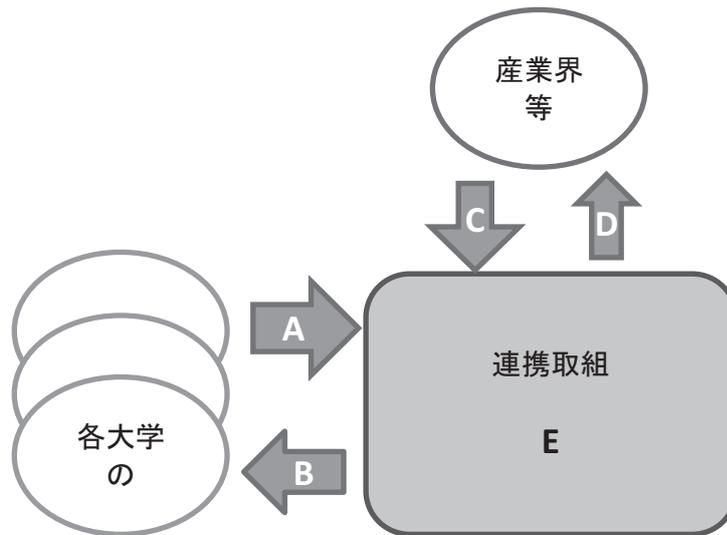
平成25年3月

内部評価委員会

内部評価の観点について

○内部評価は、以下の5つの観点で評価することとする。

- ①連携取組が遂行できているか(E)
- ②大学の取組が連携に活かされているか(A)
- ③連携の取組成果が大学に還元されているか(B)
- ④産業界等や産業界ニーズが連携取組に取り込まれているか(C)
- ⑤連携の成果が産業界に還元され、大学の取組に対して理解が進んでいるか(D)



評価委員会からの改善提案

■テーマⅠ 教育カリキュラム体系構築委員会

◆評価できる点など		
○14大学のカリキュラムの収集及びアンケート調査ができた点 ○キャリア教育担当教員の新規雇用の現状や基礎的な人間力育成の体系的なカリキュラム等、課題の抽出ができた点 ○積極的な大学からの情報提供があった点 ○抽出された課題から、キャリア教育担当教員の教師塾のような具体策を検討し、次年度試行しようとしている点		
H24年度改善提案に対するH25年度取組に対して		
◆今後の課題、期待点など	H25の対応	自己評価
キャリア教育の新規採用教員の産学協働による事前の育成制度について具体化、試行を期待		<input type="checkbox"/> 事業実施（課題解決） <input type="checkbox"/> 事業着手 <input type="checkbox"/> 課題検討中 <input type="checkbox"/> 課題未着手
各大学のカリキュラム事例のHP掲載の実現		<input type="checkbox"/> 事業実施（課題解決） <input type="checkbox"/> 事業着手 <input type="checkbox"/> 課題検討中 <input type="checkbox"/> 課題未着手
キャリア教育の義務化の中で、教員体制、FDへの対応について検討を期待		<input type="checkbox"/> 事業実施（課題解決） <input type="checkbox"/> 事業着手 <input type="checkbox"/> 課題検討中 <input type="checkbox"/> 課題未着手
4年間の学修と専門との関係でキャリア教育が形成されるよう検討を期待		<input type="checkbox"/> 事業実施（課題解決） <input type="checkbox"/> 事業着手 <input type="checkbox"/> 課題検討中 <input type="checkbox"/> 課題未着手
各大学の教育目標に照らし合わせたキャリア教育のカリキュラム体系をどう形成していくのかについて検討を期待		<input type="checkbox"/> 事業実施（課題解決） <input type="checkbox"/> 事業着手 <input type="checkbox"/> 課題検討中 <input type="checkbox"/> 課題未着手
学生の反応、評価等についても意識したカリキュラムについて検討を期待		<input type="checkbox"/> 事業実施（課題解決） <input type="checkbox"/> 事業着手 <input type="checkbox"/> 課題検討中 <input type="checkbox"/> 課題未着手

評価委員会からの改善提案

■テーマⅡ 産官学地域協働委員会

◆評価できる点など		
<p>○1 4大学及び産業界から第一段階の情報収集ができた点 ○ミスマッチの意味についてコンセンサスができた点 ○課題として、①ヒューマンスキルの要素における具体的基準、②業種や職種で異なる求める人材像の違い、が抽出できたこと</p>		
H24年度改善提案に対するH25年度取組に対して		
◆今後の課題、期待点など	H25の対応	自己評価
不足する産業界ニーズの抽出及びその調査を期待		<input type="checkbox"/> 事業実施（課題解決） <input type="checkbox"/> 事業着手 <input type="checkbox"/> 課題検討中 <input type="checkbox"/> 課題未着手
ヒューマンスキルをどう捉えるかについて検討を期待。また、学生が自主的、主体的に学ぶことのできる力をヒューマンスキルと関連づけての検討を期待		<input type="checkbox"/> 事業実施（課題解決） <input type="checkbox"/> 事業着手 <input type="checkbox"/> 課題検討中 <input type="checkbox"/> 課題未着手
「若手で活躍している人たちは、大学時代どんなふうにご過ごしたか」について、多様性を重視した調査について検討を期待		<input type="checkbox"/> 事業実施（課題解決） <input type="checkbox"/> 事業着手 <input type="checkbox"/> 課題検討中 <input type="checkbox"/> 課題未着手

評価委員会からの改善提案

■テーマⅢ 教育手法・手段開発委員会

◆評価できる点など		
<p>○多くの大学からインターンシップやPBLの特色ある事例収集ができた点 ○14大学の事例収集や課題についてヒアリングを実施した点</p>		
H24年度改善提案に対するH25年度取組に対して		
◆今後の課題、期待点など	H25の対応	自己評価
インターンシップやPBLの類型化を期待		<input type="checkbox"/> 事業実施（課題解決） <input type="checkbox"/> 事業着手 <input type="checkbox"/> 課題検討中 <input type="checkbox"/> 課題未着手
IS、PBLの課題抽出を期待		<input type="checkbox"/> 事業実施（課題解決） <input type="checkbox"/> 事業着手 <input type="checkbox"/> 課題検討中 <input type="checkbox"/> 課題未着手
「PBLの最後は座学に集約する」と言われるが、PBLをどう理論化するかについて検討を期待		<input type="checkbox"/> 事業実施（課題解決） <input type="checkbox"/> 事業着手 <input type="checkbox"/> 課題検討中 <input type="checkbox"/> 課題未着手
IS、PBL等の14大学による共同FD、相互公開授業の検討を期待		<input type="checkbox"/> 事業実施（課題解決） <input type="checkbox"/> 事業着手 <input type="checkbox"/> 課題検討中 <input type="checkbox"/> 課題未着手
自大学のプログラムを他大学の学生に相互提供することの検討と試行の実現を期待		<input type="checkbox"/> 事業実施（課題解決） <input type="checkbox"/> 事業着手 <input type="checkbox"/> 課題検討中 <input type="checkbox"/> 課題未着手
ISやPBL等の大学の事例発表に対するアワードの検討及び実現を期待		<input type="checkbox"/> 事業実施（課題解決） <input type="checkbox"/> 事業着手 <input type="checkbox"/> 課題検討中 <input type="checkbox"/> 課題未着手
合同IS、合同PBLプログラムの実現を期待		<input type="checkbox"/> 事業実施（課題解決） <input type="checkbox"/> 事業着手 <input type="checkbox"/> 課題検討中 <input type="checkbox"/> 課題未着手

評価委員会からの改善提案

■テーマⅣ ICT活用委員会

◆評価できる点など		
○委員参加大学からICT活用の情報収集ができた点 ○課題の抽出ができた点 ○4大学のICTの活用の仕方がまったく異なり、経験知の共有ができた点		
H24年度改善提案に対するH25年度取組に対して		
◆今後の課題、期待点など	H25の対応	自己評価
ループリックの更なる検討を期待。合わせて、学部・学科の特徴を活かした指標の検討も。		<input type="checkbox"/> 事業実施（課題解決） <input type="checkbox"/> 事業着手 <input type="checkbox"/> 課題検討中 <input type="checkbox"/> 課題未着手
各大学のもっている専門によって評価が違ってくるが、どこに評価の共通項を出していくかについて検討を期待		<input type="checkbox"/> 事業実施（課題解決） <input type="checkbox"/> 事業着手 <input type="checkbox"/> 課題検討中 <input type="checkbox"/> 課題未着手
自主的、主体的に学び、社会に立ち向かっていける学生が育ったか、を評価、支援するICT活用について検討を期待		<input type="checkbox"/> 事業実施（課題解決） <input type="checkbox"/> 事業着手 <input type="checkbox"/> 課題検討中 <input type="checkbox"/> 課題未着手
評価についてテーマⅢとの関連が深くなることから、テーマⅢとの連携を期待		<input type="checkbox"/> 事業実施（課題解決） <input type="checkbox"/> 事業着手 <input type="checkbox"/> 課題検討中 <input type="checkbox"/> 課題未着手
全国で評価を支援する効果的なICT活用を行っている事例の調査を期待		<input type="checkbox"/> 事業実施（課題解決） <input type="checkbox"/> 事業着手 <input type="checkbox"/> 課題検討中 <input type="checkbox"/> 課題未着手

評価委員会からの改善提案

■取組全体

◆評価できる点など		
<p>○学生リーダー会が活発に活動し、本事業に貢献した点 ○14校による連携の場ができて、連携による経験知の共有ができた点 ○文部科学省からフォーラムに参加していただき、貴重な示唆をいただくことができた点</p>		
H24年度改善提案に対するH25年度取組に対して		
◆今後の課題、期待点など	H25の対応	自己評価
学生リーダー会が活発に活動することを次年度も期待する		<input type="checkbox"/> 事業実施（課題解決） <input type="checkbox"/> 事業着手 <input type="checkbox"/> 課題検討中 <input type="checkbox"/> 課題未着手
合同フォーラムにもっと多くの企業、自治体に参加してもらえようようにしてほしい		<input type="checkbox"/> 事業実施（課題解決） <input type="checkbox"/> 事業着手 <input type="checkbox"/> 課題検討中 <input type="checkbox"/> 課題未着手

平成24年度 文部科学省 産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業
「産官学地域協働による人材育成の環境整備と教育の改善・充実」

委員会別自己評価票

委員会	取組全体	24年度
-----	------	------

5：成果があった、4：やや成果があった、3：どちらともいえない、2：あまり成果がみられなかった、1：全く成果がなかった

評価内容		項目	総合評価
1	具体的な取組内容	①産官学地域協働連携会議	4
		②大学連携会議	3
		③4つの取組テーマ	5
		④府大・委員長会議	5
		⑤産業界ニーズの反映	3
		⑥合同フォーラム	5
2 3 4	本取組の成果	学生 ①自校以外のプログラム（他校、連携）に参加することで、社会で求められている能力について意識し、今大学で学ぶべきことが理解できるようになった ②各大学の学生リーダーになり、合同フォーラムの企画運営に関わった学生がリーダーシップを学内で発揮できるようになった	4
		大学 ①本連携取組で設定している4つの取組テーマに対して、積極的に関わることができた ②産業界ニーズを継続してカリキュラム、教育手法・手段にいかす体制づくりができた	3
		企業 ①産業界と一緒にテーブルで議論しあうことで、産業界ニーズを把握し、教育につなげていく道筋が明確になった ②大学の学修と人材育成について、企業の理解が深まった	3
		5 産業界等との連携協力 ①本連携取組によって構築した産業界人材が活用できた ②各大学独自の産業界との連携が拡大・深化した	/
6	連携への提供と大学への還元 (A、B)	①大学の課題や成果を連携取組へ提供できた	5
		②本連携の取組成果を大学に還元できた	3
		③本取組成果が大学の教育改善及び体制整備につなげることができた	/
7	継続性	①本連携取組によって、継続的な大学間連携を維持、強化することができた	4
		②本連携取組によって、継続的な産業界等との連携を維持、強化することができた	3
8	特記事項 (自由記述)	○学生リーダー会が活発に活動し、本事業に貢献。次年度も期待する。 ○14校による連携の場ができたこと、連携による経験知の共有ができたことがよかった。 ○文部科学省からフォーラムに参加していただき、貴重な示唆をいただくことができた。 ○合同フォーラムにもっと多くの企業、自治体に参加してもらえるようにする。	

平成24年度 文部科学省 産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業
「産官学地域協働による人材育成の環境整備と教育の改善・充実」

委員会別自己評価票

委員会	テーマⅠ 教育カリキュラム体系構築委員会	24年度
-----	----------------------	------

5：達成できた、4：やや達成できた、3：どちらともいえない、2：あまり達成できなかった、1：全く達成できなかった

評価内容	項目	コメント	総合評価
1 具体的な取組内容	①各大学のキャリア教育関連カリキュラムの収集	全大学のキャリア教育関係科目の授業計画やシラバスなど収集できた	5
	②領域・分野別の分類及び課題抽出	アンケート調査によって課題 カリキュラムと人材育成ならびに教員採用・育成についての課題を抽出できた	5
	③産業界ニーズの反映の在り方検討	全大学からカリキュラム作成に当たっての産業界ニーズ調査の実施状況について調査できた	4
	④カリキュラムモデルの策定	追加すべきカリキュラムの検討資料が得られた	3
	⑤合同フォーラム	分科会5で4大学からの事例報告を行い、コメンテーター2名から有用な意見をいただいた	5
2 産業界ニーズの反映	①産業界ニーズを取組テーマに反映できた		3
	②取組テーマや委員会等への産業界からの協力が得られた	分科会5に産業界からコメンテーターが参加いただき、有用な意見をいただいた	4
3 連携への提供と大学への還元(A、B)	①大学の課題や成果を連携取組へ提供できた		3
	②本連携の取組成果を大学に還元できた		3
	③本取組成果が大学の教育改善及び体制整備につなげることができた		3
4 継続性	①本連携取組によって、継続的な大学間連携を維持、強化することができた	公開委員会で参加者から継続調査への意見をいただけた	4
	②本連携取組によって、継続的な産業界等との連携を維持、強化することができた		3
5 特記事項(自由記述)	アンケート調査の結果から「産学共同のキャリア教員養成塾」の開設を検討		
6 その他評価			

平成24年度 文部科学省 産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業
「産官学地域協働による人材育成の環境整備と教育の改善・充実」

委員会別自己評価票

委員会	テーマⅡ 産官学地域協働委員会	24年度
-----	-----------------	------

5：達成できた、4：やや達成できた、3：どちらともいえない、2：あまり達成できなかった、1：全く達成できなかった

評価内容	項目	コメント	総合評価
1 具体的な取組内容	①各大学の産業界ニーズの情報収集	第1段階の情報収集ができた	4
	②産業界からの産業界ニーズの情報収集	第1段階の情報収集ができた	4
	③共通課題及び個別課題の抽出	第1段階のまとめができた	4
	④不足する産業界ニーズ情報の抽出	来年度の推進項目である	2
	⑤産業界ニーズ情報の各大学への還元	来年度の推進項目である	2
	⑥ミスマッチとは何か？の検討	「ミスマッチ」の意味についてのコンセンサスができた	4
	⑦合同フォーラム	満足した開催ができた	5
2 産業界ニーズの反映	①産業界ニーズを取組テーマに反映できた	第1段階の反映ができた	4
	②取組テーマや委員会等への産業界からの協力が得られた	経済団体については把握できたが個別の企業についてはこれから	4
3 連携への提供と大学への還元(A、B)	①大学の課題や成果を連携取組へ提供できた	まだこれからいろいろ協力いただくことがある	4
	②本連携の取組成果を大学に還元できた	来年度以降の課題である	3
	③本取組成果が大学の教育改善及び体制整備につなげることができた	来年度以降の課題である	3
4 継続性	①本連携取組によって、継続的な大学間連携を維持、強化することができた	評価できない	/
	②本連携取組によって、継続的な産業界等との連携を維持、強化することができた	評価できない	
5 特記事項(自由記述)	<p>今後下記の事項の推進が望まれる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 産業界の人材ニーズを業界別・職種別・企業規模別等詳細に把握する必要がある。 2. ヒューマンスキルの具体的な評価基準の作成を進める必要がある。 3. ヒューマンスキルを育成する教育方法を研究する必要がある。 4. 産業界との連携による人材育成支援体制を推進する必要がある。 5. 大学間の連携による教育方法の相互交流を進める必要がある。 		
6 その他評価			

平成24年度 文部科学省 産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業
「産官学地域協働による人材育成の環境整備と教育の改善・充実」

委員会別自己評価票

委員会	テーマⅢ 教育手法・手段開発委員会	24年度
-----	-------------------	------

5：達成できた、4：やや達成できた、3：どちらともいえない、2：あまり達成できなかった、1：全く達成できなかった

評価内容	項目	コメント	総合評価
1 具体的な取組内容	①各大学のインターンシップ・PBL事例の収集	委員会における事例共有及び課題検討	4
	②各大学のインターンシップ・PBL事例の分析		3
	③課題抽出		3
	④産業界ニーズの反映の在り方検討		3
	⑤インターンシップ・PBLモデルの策定		3
	⑥合同フォーラム	公開委員会・分科会における各大学事例研究実施	4
2 産業界ニーズの反映	①産業界ニーズを取組テーマに反映できた		3
	②取組テーマや委員会等への産業界からの協力が得られた	産官学地域協働連携会議により産業界側より情報提供を確約	4
3 連携への提供と大学への還元(A、B)	①大学の課題や成果を連携取組へ提供できた	各大学のインターンシップ・PBL事例共有による	4
	②本連携の取組成果を大学に還元できた		3
	③本取組成果が大学の教育改善及び体制整備につなげることができた		3
4 継続性	①本連携取組によって、継続的な大学間連携を維持、強化することができた	芦屋大「仕事力育成講座」の参加確認等	4
	②本連携取組によって、継続的な産業界等との連携を維持、強化することができた		
5 特記事項(自由記述)	今年度検討により委員会の取組課題「PBL・インターンシップの教育手法・手段開発」に関し、各大学の現状事例やその違いの検証を通して、教育手法・手段の開発に対する課題点の検討・把握が進んだ。		
6 その他評価	①インターンシップやPBLの参加企業が増えた		
	②インターンシップの参加企業が増えた		

委員会別自己評価票

委員会	テーマⅣ ICT活用委員会	24年度
-----	---------------	------

5：達成できた、4：やや達成できた、3：どちらともいえない、2：あまり達成できなかった、1：全く達成できなかった

評価内容	項目	コメント	総合評価
1 具体的な取組内容	①各大学のICT活用の情報収集	各大学の取組について2回ずつ発表した	5
	②共通課題及び個別課題の抽出	いくつかの課題を抽出し合同フォーラム分科会1で提示した	4
	③効果的なICT活用に対する改善案の検討	委員会で話し合いはしているが改善案として十分まとまっていない	3
	④評価項目（ルーブリック）づくり	来年度以降の取組	
	⑤自己評価力の向上を促すICT活用モデルづくり（主体的な学びの向上）	来年度以降の取組	
	⑥合同フォーラム	予定通り実施できた	5
2 産業界ニーズの反映	①産業界ニーズを取組テーマに反映できた	テーマには反映できているが取り組み内容への反映は今後となる	3
	②取組テーマや委員会等への産業界からの協力が得られた	委員会や合同フォーラムにおいて産業界からの参加を得た	4
3 連携への提供と大学への還元（A、B）	①大学の課題や成果を連携取組へ提供できた	各大学の取組内容や課題を連携会議で提供した	5
	②本連携の取組成果を大学に還元できた	共有した段階であり、それを学内で具体化するには至っていない	2
	③本取組成果が大学の教育改善及び体制整備につなげることができた	来年度以降の課題	
4 継続性	①本連携取組によって、継続的な大学間連携を維持、強化することができた	定期的に委員会を開催し、その成果を合同フォーラムで共有した	4
	②本連携取組によって、継続的な産業界等との連携を維持、強化することができた	産業界との連携は始まったばかりであり、その維持と強化を図るために今後努力していく	2
5 特記事項（自由記述）	評価指標やルーブリックについては、今年度の取組の中で認識した産業界のニーズを反映させる形で来年度以降の活動の中で作成していく。ICTを活用した評価体制モデルづくりは到達目標であり、これを目指して今後継続的に取り組んでいく。		
6 その他評価			